

- 1、開会
- 2、学校運営協議会について
- 3、校長あいさつ
- 4、会長あいさつ
- 5、委員自己紹介
- 6、事務局自己紹介
- 7、協議

①「本校の学校経営計画」について説明

（校長）教育活動の充実、指導力・組織力の向上、地域や関係機関との連携強化を大きな3つの目標として計画した。数値目標としており、その目標にむけてどのように取り組んでいくかを項目としてあげている。

経験年数の少ない教員への支援体制として、授業を見学したり、されたりということが効果的であるという委員の方からのアドバイスを受けて授業の公開を計画している。また、本校の教員は、生徒の実習関係の出張が多く、研修になかなか行けないという事情があるので、伝達講習という方法を活用していく。

府の事業として外国語講師の派遣が予算化されたので、講師に来ていただいて授業の充実を図り、オリンピック・パラリンピック、また万博も控えていることもあり、グローバル人材の育成をめざし、国際的な視野を育むという項目を新たに加えている。今年度の入学生は台湾への研修旅行も計画している。

もう一つの事業として、高等支援学校にスクールソーシャルワーカーが派遣されることになり、週1回来ていただいている。

教職員については定数があり、本校は51人（教頭含む、養護教諭含まず）中、共生推進教室の教員10名（千里青雲5名、北摂つばさ5名）が含まれている。年齢構成からわかるように比較的若い教員が多い。各教科の教員がバランス良く配置されることが望ましいが、難しいのが現状である。本校では学校設定教科があるので校内で今までの取り組みを参考に工夫をしている。

異動対象の教員もA対象、B対象と合わせて16名となっている。教員の異動が多いので次に来た教員を早く育成しなければならない。

質問・意見

（会長）異動対象の教員が多く、その中でも一番長くいる教員は何年目くらいなのか。

（校長）開校7年目になるので一番長い7年目の教員が3名いる。5分掌中、4つが新分

掌長となっている。

### ②授業参観アンケートについて

(教頭) 4月の土曜参観日、7月と12月に設定している授業参観週間で保護者の方にアンケート用紙にご意見を書いていただき、授業改善に役立てようと考えている。生徒にもアンケートを行う予定である。12月には学校評価自己診断をアンケート形式で実施する予定である。

### ③使用教科書について

(教務部長) 教科によっては複数年使用するものもある。

(会長) 新学習指導要領改訂に伴い、どのように変わっていくのか楽しみにしていたが、このように見せていただき、カラフルでわかりやすいと思った。

(委員)

- ・卒業してからの生活を考えたものになっている。
- ・絵や写真が多くてわかりやすい。
- ・生活に密着したものが多く実感した。どういうところまで学校で一般常識などを行っているのかと疑問に思っていたので、職場にもどって情報共有したいと思う。
- ・教科書を残しておいて、見て、少しずつでもできることを増やして、安心して過ごせるようになって欲しい。

### ③進路状況について

(進路指導主事) 就職率が初めて90パーセント台に乗った。この学年の特徴としては2年時にたくさんの実習に行くことができたので、職業選択のイメージを持つ生徒が多かったのではないかと考えられる。3年生までに業種の希望をしぼっている生徒が多かったように思われる。職種についても幅が広くなり、雇用率も昨年度改訂され、企業様からのお問合せもここ数年増えてきている。

### 質問・意見

(会長) 事務補助とは具体的にどのような内容なのか。

(進路指導主事) 社内メール便を部署ごとに分ける、ダイレクトメールの封入作業、手書きのものをパソコンで入力するなど、企業様ごとに特徴はあるがそれらの業務が多い。

(委員) 事務補助の仕事が増えてきているということで、入力もされているのか。

(進路指導主事) 社員の方の手書きのメモをパソコンで入力するような業務もある。

(会長) 学校ではどのような取り組みをしているのか。

(委員) ワードやエクセルは学習しているか。

(進路指導主事) 本校では情報の授業と職業共通の事務(学校設定教科)の授業、総合的

な探求の時間では行事に関する調べ学習の取り組み、また、昼休みのパソコン設置教室の開放等で生徒がパソコンをさわれる環境になっている。

(授業担当者) 3年生になるとパソコンに慣れ親しんでいるのでローマ字入力もできるようになっている。ワードやエクセルも授業で学習している。

(委員) 就労支援では、企業の方からワードよりもエクセルを希望される声もあり、お聞きしてみたかった。

(会長) 文章を作るというよりは、構造化されたデータを入力する仕事がある。また、機械的に入力されたものをチェックするという仕事もある。

#### ⑤意見交換・その他

(会長) 台湾の学校と交流、台湾への研修旅行とありますが、大阪の公立の支援学校で台湾へ行かれたところはあるか。また、交流校は決まっているのか。視察は済んでいるのか。

(校長) 教育庁と相談しながら計画を進めている。視察はすでにすませていて、交流校とは絵手紙のやりとりなどを考えている。

(会長) 単なる旅行というわけではなく教育課程上で計画的に実施されるということではないか。初めとということで教育庁とも連携して、2025 のこともあるので、大阪府としても応援してもらえないか。

(校長) 他府県では支援学校で海外の修学旅行を実施している学校もある。他府県の校長先生と連携して参考にさせていただきたい。

(委員) スクールカウンセラーについてはどうか。

(校長) 昨年までは年10回のスクールカウンセラーの派遣のみであったが、スクールソーシャルワーカーに毎週来ていただけるようになり、相談回数も増やせた。施設、関係機関、出張に行っていた。

(会長) 今まで個人的なことの相談であったと思うが、卒業後を見据えて、制度の紹介など幅の広い支援になるのではないかと思う。

(校長) 高校ですでに配置されていて、高等支援まで広がった。

(会長) 防災についてはどうか。

(教頭) 様々な手段で防災の備蓄品を入手しているが、賞味期限がせまったものを生徒、教員が防災の教材として試食を行った。

(授業担当者) 生徒の委員会で試食を行った。

(会長) 同窓会はいつか。

(教頭) 今年度は5月3週目に実施。学校主体から保護者主体へと移行している。保護者がいろいろ考えていきたいということであったが今のところ総会を含めて年1回となって

いる。

(会長) 同窓会の運営自体むずかしくなっている。居場所、楽しみ アフターとしての役割もある。卒業して生活する中でのことを聞いて、卒業生から 3 年間の教育の中身にフィードバックをもらう。スポーツや文化的な場はたくさんできているけれども参加がむずかしいこともある。家と仕事の往復で同窓会を居場所として楽しみにしている人もいるので 5 年後、10 年後と長期的に取り組まれてはどうかと思う。

○本日のまとめと終わりのあいさつ

第 2 回は 11 月 15 日 (金)、第 3 回は 2 月 28 日 (金) を予定している。